

研究課題名	関節リウマチ治療における分子標的薬の有効性や有害事象についての観察研究
研究の意義・目的	関節リウマチ患者様において、分子標的薬である生物学的製剤や JAK 阻害薬の有用性や有害事象について調査することを目的とします。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2030年12月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2003年7月～2030年12月に大阪公立大学医学部附属病院の整形外科で、関節リウマチ治療のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、年齢、性別、既往歴、生活歴、身長、体重、検査データ、画像データ、薬物治療経過、有害事象など】
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関と情報を共有します。
この研究を行っている共同研究機関	主研究施設・責任者 大阪公立大学医学部附属病院 岡野匡志 共同研究施設・責任者 大阪市立総合医療センター 多田昌弘 大阪府済生会中津病院 乾健太郎 白浜はまゆう病院 小池達也 淀川キリスト教病院 織田一貴 大東中央病院 岡野匡志 東住吉森本病院 乾健太郎 北出病院 小池達也 大阪社会医療センター附属病院 安野翔平 高遼会病院 脇谷滋之 市立柏原病院 山田祐太郎 十三市民病院 坂和明 藤井寺市民病院 福嶋賢三 たかひろクリニック 飯田高広
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 高齢者運動器変性疾患制御寄付講座 研究責任者 岡野匡志
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 研究責任者の岡野匡志はアッヴィ合同会社・日本イーライリリー・ヤンセンファーマから講演料を、2023年3月まで実施分担者として参加していた小池達也はアッヴィ合同会社から講演料・治験費用・寄附金と日本イーライリリーから講演料と中外製薬から寄附金を受領しております。
研究に協力をしたくない	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。

場合	
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 高齢者運動器変性疾患制御寄付講座 (担当者氏名) 岡野 匡志 電話番号：(06) 6646-6010